



うすば よしひろ
薄葉 好弘 議員

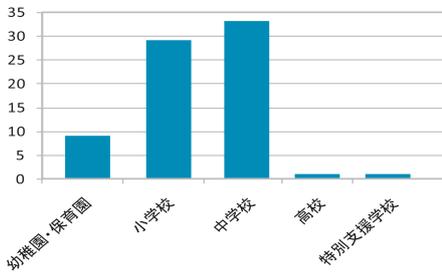
各小学校、中学校の不登校の 児童・生徒の現状と対応について

答 一人ひとりの心に寄り添う対応をします

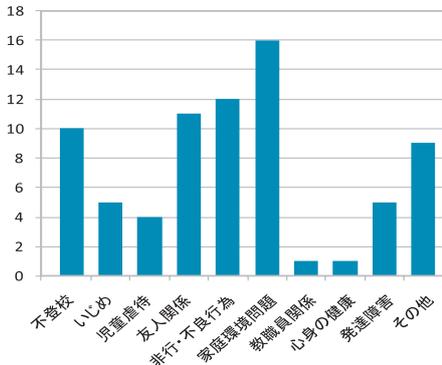
教育長 不登校の児童、生徒の対応について小・中学校に、スクールカウンセラーを配置し、児童、生徒、保護者が学校生活における悩みを相談できる環境を整えています。不登校の家庭が抱える悩みごとはスクールソーシャルワーカーによる家庭訪問等、課題の解消、必要な支援を行っています。全ての児童、生徒が楽しい学

薄葉 スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの各小学校、中学校の相談人数と内容等についてお尋ね致します。次に各小学校、中学校の不登校の現状と対応はどうか。
また、「いじめによる不登校」と思われる児童・生徒が各小学校、中学校で「いじめ」として認知されている件数があるのか。

スクールソーシャルワーカー学校別相談件数



スクールソーシャルワーカー相談内容



校生活を送れるよう、小中学校、保護者、地域の皆様と協力しながら、一人ひとりの心に寄り添った対応に努めます。
いじめによる不登校の認知件数は中学校では10月から2月が6件、小学校では4月から2月末の期間で12件のいじめ事案がありました。

町政を問う（一般質問）

町内産米の消費拡大に向けた 具体的な取り組みについて

答 町内の酒米による新酒づくり

薄葉 東日本大震災から6年が経過し、町内産米の消費拡大に向けた具体的な取り組みについて、今後はどの様に

の克服に向けた積極的な施策についてお尋ね致します。

14・2%です。
米飯給食は100%矢吹町産米指定です。

に取り組みを行っているのか。学校給食における地場産物、特に町内産品の使用割合を含む活用状況についてどうなのか。また、風評被害の状況と風評被害

町長 町内産米の消費拡大に向けた取り組みについて、三鷹市との市民レベルでの交流をさらに拡大し、地域間の連携、農産物等のPR、町内産米の酒米を使った新酒づくり事業

町内産農産物の風評被害の状況は、改善傾向にはあるものの依然として厳しい状況です。
農産物の風評被害の払拭に向けた農業の振興に最大限努めてまいります。

事業を展開することにより、地域間の連携も深まり、新たな販路の拡大、矢吹産米の消費拡大につながっていくものと考えています。
矢吹町の地場産品の使用割合は、平成25年10・5%、平成26年度14・1%、平成27年度11・4%、平成28年度

その他の質問
・除染対策について

